

第8回 豊川霞堤地区浸水被害軽減対策協議会

議事概要

日 時：令和5年2月3日（金）14：00～15：10

場 所：豊橋河川事務所 2階会議室（WEB併用）

参加者：国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所長

愛知県 東三河建設事務所長（WEB）

豊橋市役所 建設部長

豊川市役所 建設部長（WEB）

豊川改修期成同盟会 会長

豊川改修促進期成同盟会 会長（WEB）

概 要：

- ① 豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画フォローアップについて。
- ② 作業部会及び地元説明会の報告について
- ③ その他

主な発言内容：

① 豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画フォローアップについて

・ 通行する車から簡易水位計の状況が見えるような仕組みがあるのか。

→（事務局）回転灯の色によって、水位の状況を可視化する仕組みを導入している。また、浸水注意水位になった際には、県の方で巡視および通行止めを実施する。

・ 注意喚起の看板が分かりにくいという意見を聞いたことがある。上手く誘導できる工夫をしていただきたい。

→（愛知県）豊川の水位計だけでなく、霞堤内の水位計の情報も提供していただくことで、危険な状況下において迅速に対応できるように通行規制のマニュアルを改訂した。特に、迂回路や冠水の開始が早い道路の低い箇所対策について、地元の意見を聞きながら丁寧に考えていきたい。

（豊橋市）主要な沿道の対策について、県と連携をとりながら進めていきたい。

・ 出水時の樋門の操作について、操作担当の住民の高齢化や後継者不足が懸念される。遠隔操作ができるように、豊橋河川事務所と検討を進めていきたい

② 作業部会及び地元説明会の報告について

・ 冠水時の迂回路に不備があるという件について、重大な問題だと認識している。早急な対応を願いたい。

→（愛知県）修繕が必要な箇所に対応を随時行う。

・下条地区において、取得した用地内における動物の増加、および死骸や糞の処理に困っているという現状について、具体的に住民から話を聞いているのか。また、具体的な対策は考えているのか。

→（事務局）現地の具体的な状況については聞いている。除草を行うとともに、住民から連絡を受けた際には死骸の回収を行う等の対応を行う。

・設楽ダムの工事延伸に伴い、霞地区の整備も延伸するとのことだが、地元住民にも説明を行ったのか。また、再延期の懸念もあると想像できるが、地元住民から何か反応があったのか。

→（事務局）5地区で説明を行った。再延期の懸念については特に意見が見られなかったが、8年延伸することで、危険な状態が長期化することを不安視する意見があった。そのため、従前どおりの計画ではなく、暫定小堤を一時的に設けるなどして、浸水の頻度を減らす取組を行う予定だと説明している。

③ その他

・霞堤の機能が住民、特に霞堤地区以外の住民に広く知られていないと感じる。豊川がどのような治水整備で守られているかということ、事務所、県、市などが協力して周知する取組をしてほしい。

以 上